令和８年４月２５日午後開催　市長と語る！新タウンミーティングの概要

１　日程等
（１）開催日　令和８年４月 25 日（土）午後２時開会（午後３時 45 分閉会）
（２）会　場　妻沼中央公民館
（３）テーマ　市長の基本政策・令和８年度予算について

２　意見交換・質疑応答の概要
市民）
　先ほど市長さんの方から利根川新橋についてお話がありました。私の家はまさにこのすぐ近くで、期待しているところもありますが、令和６年１月と令和７年９月に「オープンハウス型」の地元の説明会がありました。大きな計画があるにもかかわらず、まだ２回しか説明会が開かれていません。先月私の方で県土整備事務所に聞いたら、都市計画決定の手続を令和８年度にやってそれからの話になりますということでした。
　私が考えるに、地元の方への説明会が熊谷市に関してはすごく少ないなというのを前から心配しています。
　用地買収が一番難しいと思いますが、それに対して市の方の説明をうまく進めていただいて、事業が進められるようにしていただければと考えていますが、いかがでしょうか。
市長）
　説明会が少ないというお話をいただきましたが、今回は非常に早い段階での説明会です。今までは基本計画ができてから、皆さんにお伺いしていましたが、今回、基本計画ができる前に、橋を作ることについてまずは皆さん方に伺っています。
　この間のオープンハウス型の説明会では、基本計画ができていないので具体的なことには触れませんでした。具体的なお話ができない中で、まずは橋を架けることに対するお考えを皆さんに聞こうということで説明会を始めたということをまずご理解ください。
　地域の方から橋に対しては受け入れていただいたということもあって、この後、都市計画決定ができて、そして位置が決まって基本計画ができます。この段階で、用地買収も含めて道路が通るところが確定をしますので、そのタイミングでの説明会は当然開かせていただくということになりますので、ご理解いただけたらと思います。

市民）
　熊谷に限らず、農業の後継者がいないことが課題で、その理由が 1 人当たりの年収が 200 万円だからとのことです。農村地帯の過疎化についていかがお考えですか。
市長）
　農業の後継者がいないのは私どもとしても大変大きな問題だと思っています。農業だけではなく、様々な産業で跡継ぎがいません。この一番大きな理由は少子化だと思っています。
　熊谷市全体を見渡しても米と麦が中心の地域が多いんです。米の値段が一昨年の価格と比べると上がってきましたので、「やればやっただけ稼げる」という商売に農業が変わってくるのではないかと期待をしています。
　一方、今、ビニールハウスや農機具の値段が上がり、そもそもの初期投資が非常に大きくなっているんです。
　そういった中で農業を職業として選ぶ若い人たちをしっかり応援していきます。初期投資の最初の一歩が大きいように感じます。そこはこれからの検討課題だと思います。安心して農業に取り組める環境をつくらせていただきたいと思っていますので、お時間をいただければと思います。

市民）
　田畑の耕作者が少なくなり、周囲で土地を売る方も出てきて、その土地に太陽光発電施設ができた。うちのすぐ目の前にできたので日差しが当たって、特に夏はもう遮光カーテンをしないととても暑くなる。土地を持て余している跡取りのいない農家の人は「買いませんか」って言われたら多分売ってしまって、太陽光発電施設が増えてしまうのではないか、環境問題ではないかと感じたので、お話をさせていただきました。
市長）
　申し訳ありませんが、事業として、そこに投資をしてしまっているので、撤去しろというのは厳しいかなと思います。ただ、今いただいたお話は担当に伝え、状況により、その業者の方には私どもの方から指導させていただきます。

（**環境政策課**）適正な維持管理が行われていない場合には、「熊谷市太陽光発電設備の適正な設置等に関する条例」に基づき、事業者への指導等を行います。

市民）
　ゴミ置き場の設置は自治会の方でできますが、新たに地域の方が提供してくださった土地に、ゴミ置き場を設置する場合、補助金制度はあるのでしょうか。そういう制度があれば作りやすいと思ったのですが。

市長）
　ゴミ置き場の設置に対しての補助金はありません。自治会内の共助、地域の皆さん方のご理解をいただきながら、ある意味ボランティアでお世話になっているというのが実情だと思っています。
　ゴミ置き場の飛散防止、からすよけネットは、用意をさせていただいていますが、ゴミ置き場の場所は、地域の方にご理解をいただいて、作っていただくということになるかと思います。

市民）
　来年の３月 20 日をもって、秦小学校が閉校式を迎えます。秦小学校の跡地をどのようにしていくのか、もし具体的なスケジュールがありましたらお話しいただければと思います。

市長）
　秦小学校の統合が終わった後に、市役所としてもどういう形で使うところがあるかを庁内で検討し、ニーズがあるようであれば使用し、庁内としては使う予定がないときには、民間の方に公募をかけさせていただきたいと思います。その選定についても、皆さん方には逐一報告できる範囲で報告をさせていただきたいと思います。

市民）
　一昨日新聞に出ました能美防災の件で心配しています。新聞には該当地域にはペットボトルを配布すると書いてありましたけども。地域としてはどの辺なのか、市の方から示していただきたいと思います。

市長）
　本当は冒頭に言わなければいけませんでしたが申し訳ありませんでした。新聞に地下水のＰＦＡＳが国の指針値の８６４倍出たということで、先日の記者会見でお話をさせていただきました。先日、該当地域の自治会長さん方には、ご説明にお伺いをして、まずは井戸がどのくらいあるのか。要は地下水をどのくらい使っているのかということの確認と、その上で使用している場所については水質検査をしますというご説明をさせていただきました。そこから出てきたデータについては私どもの市のホームページなど、可能な範囲でご報告をさせていただきたいと思っています。
　飲み水として使っているお宅のほか、農作物の洗浄などに使っているお宅の

井戸についてはその検査をさせていただきますので、もしご心配でしたらお声がけをいただければと思います。

まずは井戸の本数の調査から始めさせていただくということで、もう少しお時間をいただきたいと思います。

（環境政策課）6 月 29 日付の公表時点において、井戸調査の結果、28 件の井戸のうち 13 件で国の指針値の超過が見られました。

順次、範囲を広げて調査を行い、地下水汚染の広がりの確認を進め、結果について市のホームページで公表をしていきます。

傾向として、道閑堀排水路の右岸側（八ツ口方面）は汚染が確認されておらず、能美防災事業所から北東および東南東方向で汚染の広がりが見られます。